

広報
275 号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 近藤 勝
編集広報委員会



心に残る感動の瞬間。

城南支部 梶野泰一

〈 主 な 内 容 〉

新年のご挨拶	理事長 近藤 勝	2~3	支部便り		
	副理事長 清水弘允、松井隆宏	3~5	[忘年会開催]	城南支部 大橋宏之	12~13
	東京返本加工協同組合理事長 工藤裕樹	5~6	"	山手支部庶務 徳永裕司	13~14
海外メーカー工場視察研修報告			"	城北支部 黒田義孝	14
中国 (アモイ)			"	文京支部 清水弘允	14~15
パート I	城北支部 黒田真司	6~7	組合員の広場		
パート II	文京支部 青山雄平	8~10	笹口行政書士事務所の紹介		15~16
第3回関東商組との合同ゴルフ大会開催		10	行政書士 笹口哲也		
	広報部		支部スケジュール		17
清風会 研修会と忘年会開催		10~11	お知らせ		
	広報部副部長 脇 克美		「2月会議・催事予定」「訃報」「古紙価格」		17~18
直納部忘年会		11~12	会議概要 [11・12月]		18~23
青年部忘年会	青年部 近藤英彰	12	編集後記	広報部副部長 高橋宏明	23
			広告		24

新年のご挨拶



東京都製紙原料協同組合
理事長 近藤 勝

新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。又、日頃より当組合への多大なるご支援・ご協力に対し深く感謝申し上げます。昨年はリーマンショックに端を発した世界恐慌が落ち着きを見せ、年初にはいち早く回復を遂げた中国がアジア圏を牽引し、世界的景気回復期待から円安、株高、資源高の方向へと向かいました。しかし、春先から勃発したギリシャショックと欧州を中心とした金融、財政不安が再燃し、一気に円高、株安の方向へと逆行すると共に二番底の心配を伺わせるに至りました。又、日本国内に於いては国民の期待外れとなった鳩山内閣が総辞職、続く菅内閣も参議院選惨敗によるねじれ国会から厳しい政権運営を迫られ、景気回復とは程遠いデフレの止まらない状況が続いております。

こうした中、日本の製紙産業においては夏の猛

暑により段ボール原紙、白板等の板紙生産はほぼ横ばいであったものの、洋紙については景気後退によるチラシの減少、出版不況に加え電子化の波による印刷用紙、新聞用紙の減産が継続されております。こういった国内の紙消費減退に対して大手メーカーは中国に生産拠点を増設し、国内生産と調整を図るケースや、中国メーカーに直接資本参加するなど軸足の移行に向かった動きも出ています。又、昨年は国民読書年として書籍購入の啓発運動が展開されましたが、皮肉なことに電子ブック元年とも重なり出版社は対応に追われる事になりました。印刷、製本業界においても残念ながら全般に縮小傾向が一層強まり、特に中小企業の縮小、廃業が多発し古紙業界を直撃しています。

そのような環境の中、業界は古紙回収推進事業、昇華転写紙問題、古紙抜き取り問題、自治体への高値入札問題、全原連の優良性評価2事業など様々な問題に取り組んできました。特に昇華転写紙、芳香紙といったリサイクルを阻害する紙が販促の為に漫画雑誌に織り込まれ我々業者はその選別に大変な苦勞をしております。リサイクル社会もCO2問題もまずそれ以前に各企業の経営があつての事であり、生残りが先であると思える程の厳しい出版不況の年でもありました。年末に

謹 賀 新 年

行った抄色に関する組合アンケートにも再生出来ない紙は製造しないで欲しいという回答が数多く寄せられました。

東京協組は常に全原連と連携を図りながら関連業界との交流、情報交換の場作りを第一に、そしてお互い組合員同士の交流を深める事に力を注いで参りました。紙の消費が減少し、古紙の回収量も激減する中、いかに業界が生残ってゆくか海外研修も含め様々な情報を広報部では発信しております。今年はリーマンショックから3年目、統一地方選挙の年でもあります。現在、政局の混乱が続いておりますが、何かの形で安定すれば必ずや大手企業の業績回復と共に、中小企業の景気回復も進むと信じております。

昨年、日ハムに入団した元早稲田大学の斎藤祐樹投手の言葉に「私が持っているものは仲間だ」という部分がありました。お互い競争し合い自分を高めてゆく切磋琢磨こそが幾つになっても人間にとって必要です。いくらお金を持っているかよりも、どれ位仲間、友人を持っているかの方が重要だと言う人さえおります。本年も組合員同士、様々な行事を通して信頼ある交流を更に積み重ねて行く事が出来れば有難いと思います。大変厳しい時代ではありますが、お互い知恵を出し合い協

力し合って、本年が良い年になります事を祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



東京都製紙原料協同組合

副理事長 **清水 弘允**

新年明けましておめでとうございます。

昨年は数多のニュースが国内外を飛び交い、それこそ十大ニュースを選ぶのに苦労してしまう程でしたが、今年も森羅万象の変化から政治・経済をはじめスポーツ・芸能にいたるまで、さぞ多くのニュースが飛び交う事でしょう。

小説家はそれを題材に本を書けばいいし、評論家はそれを後講釈すればいいと思いますが、会社を経営している者としては、特に中小零細企業の経営者である我々に、そんな余裕はありません。必死になって世の中、業界の変化を追わなくてはなりません。

古紙業界にとって何が注目点なのでしょうか。古

謹 賀 新 年

紙相場は古紙の需給動向により決まりますから今年も価格が上がる事もあれば下がる事もあるでしょう。しかし古紙発生量に関しては発生物の宿命として紙・板紙の生産および消費が減少する限り、日本国内の古紙市場も縮小する事になります。そして紙・板紙の生産および消費が今後増加する事はあり得ません。この事実は何もリーマンショックで始まった訳ではなく10年以上前から始まっていました。回収率が上昇していた為、古紙業界では顕在化しなかっただけの事です。

今後は限られた古紙を、古紙業者間で綱引きするだけでなく、製紙会社の間でも綱引きが起これ、国内需要家と海外需要家の間でも綱引きが激しくなる事でしょう。こんな事は他業界では当たり前の事で今更驚く事でもないかも知れませんが、今後は古紙業界でも同様な現象が起こるでしょう。いかにお得意様に満足したサービスを提供できるかで各企業の差が出るでしょう。決して価格だけの事ではなく、コンプライアンスから始まり、どうしたら安心して任せられる古紙業者として自社を認知してもらえかが問われる時代になるでしょう。言い換えれば、古紙業者として総合力を問われる時代に入ったと言う事でしょう。そう言う観点からも、一業者として頑張るだけで

なく組合に入る事で少しでも広い視野、情報を確保する事がますます重要ではないでしょうか。私も組合の世話役の一人として、組合が持っているサービスメニューを更に充実して組合員のニーズに少しでも答えられるよう、今年も微力ながら努力したいと思います。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

新年のご挨拶



東京都製紙原料協同組合

副理事長 **松井 隆宏**

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり皆様のご健勝とご多幸をおいのりいたします

昨年を振り返ってみると尖閣沖での漁船衝突、サッカーW杯、チリ鉱山事故、はやぶさ帰還、北朝鮮砲撃等が思いうかびます。そして、デフレ脱却ができないままの日本経済でしたが、古紙は発生減もあり単価は上昇しました。

謹 賀 新 年

そして、近年のことを思い起こしてみますと世の中の構造の変化、又機械、電子機器等の発展により縮小、消滅した事業、商品が多々あります。身近なところで考えてみれば写真のフィルムに代わりデジカメ、びんに代わりペットボトル、軽印刷に代わり高性能コピー機、又活版印刷、写植業等がなくなってきたようにみうけられます。そして電子化による古紙発生減がますます進んできました。

いずれにしても古紙を扱って生計を立てる以外道のない我々です。組合員の皆様個々の合理化による競争力アップは勿論必要だと思いますが、このような時代の発展に繋がる様な情報交換もかせないと思います。次世代に魅力ある業界として残したいものです。

年始早々、ちょっと暗い話で恐縮でございました。厳しい年だと思いますがピョンピョンと躍動することをお祈りいたします。

本年もよろしく願いいたします。

年頭のご挨拶



東京返本加工協同組合

理事長 工藤 裕樹

新年あけましておめでとうございます。

2011年の新春を迎え、東京都製紙原料協同組合並びに東京返本加工協同組合の組合員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東京返本加工協同組合もお陰様で第46期(平成22年7月1日スタート)の事業年度に入っておりますが、第一四半期終了時点での実績を見ますと何とか第44期水準となっており、近年では最悪であった第45期の実績をやっと脱げ出した感があります。しかしながら、出版販売会社様の取組を見ますと返品率を抑制する施策が木目細かく取られており、扱い量の増加は期待できず、むしろ減少傾向にあることを認識する必要があると考えております。又、雑誌の平均重量は5年前の1冊当り420gから390gと軽量化しており、広告ページの減数も顕著なものとなってきております。

謹 賀 新 年

この様な厳しい現状をしっかりと把握して、業務の見直しや原価意識を常に持ち職務を遂行して行かなければならないと考えております。

東京返本加工協同組合は役職員が一致団結致し、組合員並びに出版販売会社様そしてお取引の各社様との連携を強固なものとし、この1年を奮闘させて頂きます。何卒、皆さまのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

海外メーカー工場視察研修報告 中国（アモイ）パート I

城北支部 黒田 真司

1 「研修旅行期間」

2010年11月21日～24日

2 「研修目的地」 福建省 廈門市近郊、

漳州市 聯盛紙業（レシヨウキョウ）

3 「参加者」 10名

今回はエスコート役として、東方物産(株)嚴漢東社長にもご同行お願いいたしました。

定刻どおり、9時45分ANAで成田空港を出発しました。約4時間後、アモイ国際空港に到着。

空から見たアモイは、とても綺麗でした。空港を出発後、ホテルに向かう途中のバスの中から見たアモイ市内は、驚くほど道路が整備されており、とても綺麗でした。バイクや自転車が街中は通行禁止だったのに驚きました。このアモイは、1980年に経済特区に指定され、福建省の全面積の3分の1以上が経済開放区として、外国資本や企業を誘致している地区です。街中を走っている車を見ると、高級車が多く走っています。かなりの富裕層の方達が住んでいる地区なのだなと思いました。

ホテルにチェックイン後、市内観光をして、夕食を食べて1日目終了。

2日目、今日はメインの工場見学。朝食後、バスに乗り込み、約1時間後、目的の福建省連盛製紙会社に到着。



会議室にて主任より説明を受けてから質疑応答。東京ドーム約11個分の広さの中、4ラインのマ

謹 賀 新 年

シーンがあり、ライナー、中芯を作っている。生産能力は、現在年産60万トンだが、年産90万トンまで増産予定だそうです。使用古紙は段ボールで、月に10万トンを使用。古紙調達は、主にヨーロッパから輸入している。国内古紙は全体の10%である。今はコストを重視して輸入品を使っているが、今後アメリカや日本の古紙も使うかもしれないとの事。製品価格は、1トン、3,500円。kg約50円なので、1トン約175000円です。従業員は、1100人。在庫は、約10万トン。段ボールだけです。

質疑応答終了後、工場、ヤードを見学する。私の一番の関心事、それは、段ボールの品質。

過去の視察研修で見てきた通り、やはり品質は悪い。日本はきちんと選別されているが、ヨーロッパの物はほとんど選別されておらず、ビニール貼りは当たり前、色とりどりの紙、日本では考えられない段ボールが約10万トンヤードに置いてあります。すごいことです。

聯盛紙業は2012年に同じアモイ地区に第2工場を建設予定している。生産能力が200万トン。2013年には福建省にナインドラゴンが200万トンの工場を建設予定。競争が激しくなると予想される。



3日目 今日の観光は福建の土楼。これは、4世紀初頭、漢民族の末裔、客家民族が他民族の襲撃から財産や身を守る為に作られた円形や四角形の土壁で作られた高さ5メートルぐらいの建物である。1つの土楼には、数百の家族が住んでいたそうです。この土楼は世界遺産にも登録されています。



この4日間色々とお世話をしていただきました、東方物産(株) 巖社長ありがとうございました。現地では、巖社長のお兄さんとの楽しい会食、とても美味しかったです。ありがとうございました。

謹 賀 新 年

海外メーカー工場視察研修報告 中国（アモイ）パートⅡ

文京支部 青山 雄平

研修目的地である漳州市の官山工業区にある福建省聯盛紙業有限公司（リンショウキョウ）を見学。

福建省聯盛紙業有限公司は、ライナー、中芯の段原紙（120g～220g）の専門メーカーである。

古紙使用量は現在10万t、日本の古紙は使用しておらず、90%が欧州古紙、米国と国産古紙で10%との事。

欧州古紙使用の主な理由は、福建省ではアジアからの荷に対し、屯当たり3～4ドルの関税をかけている事が大きい。日本の古紙の品質の良さについては聞き及んでいるが、現在そこまでの品質を必要としていない。（製品の品質の為）



工業区（工業団地）自体が広大であるが、工場の敷地も広い。1200m × 660m=792,000㎡（240,000坪）

従業員は1100人で、内80%が生産ライン。

三交代制でフルに生産しており、現在の生産量は第一期計画として60万tに達している。第二期計画（2012）では、90万tとなり、古紙使用量も20万tになる予定。

年間最大290万tまでの認可を受けており第三期計画では、長康県・角美の第二工場も含めて200万tを達成する。角美（アモイから20km）でも古紙20万tを使用することになり、日本の古紙も使うことになる。



工場に入った印象として

- ① 人気無く、300人弱の気配を感じない。
- ② フルに生産しているという活気を感じない。
- ③ チリひとつ無いほど、きれいである。

（特に、古紙ストックヤード）

謹 賀 新 年

④工業区、建物、設備のすべてが新しい。

齊藤浩二社長より、「サンプル中に 120g/m²の紙があるが、もっと薄手の製品を作る予定はないか？」との質問があり、工場側から、「ノルウェー製のマシンで、110gはすぐにでも生産する」との回答があった。

廣田圭吾常務よりの、「コートボール生産予定はあるか？」の問いに対しては「今は無い」との事。

(二期計画以降、考えるかも知れないとの事)

赤染清康社長は、日本の古紙のライセンス制度(古紙商品化適格事業所)による品質の良さを強調し将来の取引をサジェスト。

清水弘允社長よりの、「将来増産した場合の原料古紙の調達方法は？」という質問に対しては、日本、米国からの輸入によるだろうとの回答であった。

隣国台湾からの古紙輸入については否定的。台湾業者は慣例的に古紙を冠水させるため、カビや腐敗などの被害が過去にあった。

また、福建省の回収率向上についても、期待はできないとの事。日本にとっては、まだまだ、中国の市場に期待するところである、という雰囲気になってきた。

工場裏手には火力発電設備や、汚水処理槽など、巨大設備が並ぶ。自家発電設備を持っているとい

うよりは、工業団地のインフラが無く、設備せざるを得ないという感じもする。人が少なく、のんびりとトラック1台を出荷している。



原料古紙はきれいに積まれたままになっている感じがする。実際の稼働率がよくわからない工場という印象が残った。

60万トンを3交代制で生産すると1時間当たり、833t/時となるが、古紙を取りに来る作業員はいなかった。

所感

今回初めて、東京都製紙原料共同組合 直納部の研修に参加させて頂き、改めて関係各位に御礼を申し上げたいと感じております。

ここしばらく、営業所近辺だけを見て仕事をしており、輸出用コンテナの行く先を想像したことすらありませんでした。コンテナを送りだした時点で、私の役割は終わっていたのです。活気溢れ

謹 賀 新 年

る街角、居並ぶ高級車、巨大な工業団地と、私のイメージとはかけ離れた中国の一面も見ることができ、将来の取引先国としての関心が一段と高まりました。また、オーナー系役職者という業界経営陣のツアーに参加できたこともおおきな糧となったと感じております。

またいつの日か、こうした機会に参加できるよう、日々精進してまいりますので、よろしくお願い致します。

第3回 関東商組との合同ゴルフ大会を開催

広報部

平成22年12月5日(日)に石岡ゴルフ倶楽部にて、第3回東京協組と関東商組の合同ゴルフ大会を開催しました。

石岡ゴルフ倶楽部はジャック・ニクラウスが設計したコースで、池が各所に配置され、景色は素晴らしいが気の抜けない本格派コースでした。当日は天気にも恵まれ晴天の中、両組合から31名が参加して好プレー、珍プレーが繰り広げられました。

優勝は(株)平松商店の平松社長、準優勝は(株)増田商店の増田会長、3位は(株)高岡の高岡社長、ブービーは(株)廣田の廣田さんでした。

清風会 研修会と忘年会を開催

広報部副部長 脇 克美

昨年、12月3日上野「東天紅」において、定例の常任及び理事会を30分繰り上げ、午後5時より清風会恒例となりました研修会を開催しました。

「紙・板紙需給ならびに古紙利用の現状」とのテーマで、王子エコマテリアル(株)取締役・古紙部門長 東日本調達部長兼広域調達部長の田口満様に講師をお願いしました。王子エコマテリアル(株)という会社は王子グループの1社で前身が王子パルプセンターでグループ全体に古紙全般と新燃料を供給している会社だそうです。私なりの印象では古紙問屋とメーカーの中継をしているのかとの思いがしました。



謹 賀 新 年

直近（この1年）の詳しい「品種別生産・出荷・在庫」の資料を用意していただき、詳しく説明を受けることが出来ました。

やはり10月頃からぐっとどの数値が下落しているのが資料から良く判りました。またメーカー側の方なので禁忌品（とくに捺染紙）の混入には特に気をつけてほしいとの要望もありました。今後も古紙利用率の向上に向けて、DIP向け代替古紙の利用などの取り組みにも力を入れてゆくとお言葉もありました。我々古紙業者も品質の向上、安定にこれまで以上に気を配らねばと思いました。



研修会の後、会場を移し忘年会となりましたが、廣田理事の司会で坂田秀一郎副会長、近藤 勝理事長の挨拶を頂き、工藤房太郎様の乾杯のご発声で開宴となりました。清風会の宴は今ほもう親戚の集まりみたいなもので、コンパニオンも加わり大いに盛り上がりました。あっという間に時が過ぎ、清水副理事長の中締めで散会となりました。

直納部忘年会を開催

去る12月22日（水）、上野にある伊豆栄梅川亭にて直納部の忘年会が開催されました。

年末の忙しい中であったが直納部員とご来賓で総勢28名が参加しました。来賓には、集荷部を代表して松井副理事長、宮崎集荷部長にご参加をいただいた。また共販輸出業者として（株）松本光春商店、（株）ジェーオーピー、豊通紙パルプ建材（株）にご参加いただき、宴会前に海外の市況についてお話をしてもらいました。他に今回、中国工場視察（アモイ）の段取りと研修に同行してくれた東方物産（株）巖社長にも、来賓としてご参加いただきました。



宴会に先立ち赤染直納部長より市況報告および中国視察についての報告があった後、清水副理事長の挨拶、松井副理事長の乾杯で宴会に入りました。今年も相変わらず厳しい市況ではあったが、やっ

謹 賀 新 年

と無事に1年を乗り切った安堵感か、美味しい料理を味わい酒が入るにつれ、参加者一同いつも以上に和気あいあいとした楽しい雰囲気のもと1年の終わりに相応しい有意義な時間が過ぎていきました。

最後に(株)グリーンの齋藤委員から締めの挨拶があり、来年に向けた決意を胸に散会しました。

青年部忘年会

青年部 近藤 英彰

12月2日(木)毎年恒例の忘年会が月島の「けい」という、もんじゃ焼きのお店で行われました。

今回は(株)シマムラの島村社長と(株)共益・商会の大橋様の2名が初めて参加され、総勢25名の参加となりました。

月島のもんじゃ焼というと東京の人間であれば誰もがご存知だと思いますが、個人的には今まで行く機会がありませんでした。写真撮影もし、会は終始笑顔が絶えず、青年部員の結束もより強まったように感じます。

私は青年部に参加させて頂くようになり、早、4年が経ちますが年々、人数も増え活気づいているように感じます。これも坂内部長や廣田幹事長

の努力によるものだと感じております。本年も積極的に参加していきたいと考えております。



支部便り

城南支部 忘年会開催

城南支部 大橋 宏之

去る11月27日(土)、城南支部忘年会が田町の割烹牡丹にて開催されました。

当日は坂田支部長以下、城南支部のメンバー8社12名の他、ご来賓として近藤理事長、清水副理事長、大同生命の小川さんが参加していただきました。日本経済が低迷し発生も思わしくない一年ではありましたが、仕事の都合で参加を見合わせた方以外、いつもの顔が元気に揃いました。

謹 賀 新 年

今回は坂田紙業の坂田秀一郎様の御計らいで、新内の富士松小照師匠が特別ゲストとしてご参加いただき、乾杯前に有名な「婦系図 湯島の白梅」の一説を披露していただきました。広いお座敷で聞く三味線の音や、女のお師匠さんが一人二役で男と女を歌い演じ分ける新内という世界は大変感動的なものでした。滅多に見ることの出来ない貴重な日本文化を堪能させていただき、感謝しております。



宴会は坂田支部長の乾杯のご発声のあと、お師匠さんも交え和やかに進行しました。

最後に参加者全員に配られたお土産は森永製菓のキャラメルやチョコレートなどの詰め合わせでした。これは昔森永製菓が苦境に立たされたときに、業界でもなにか手助けが出来ないかということで森永製品を協同購入したときの思い出ということでした。いわば協同組合の原点に立ち返るといふ意味が込められており、組合の深い歴史を感じさせるお土産でした。

さて、日本経済も不透明なまま、来年の古紙市況がどうなるか見通しづらい状況ではありますが、当城南支部はどんな時でも力をあわせてがんばっていき、また来年元気な顔で集えることを祈念し、ご報告に変えさせていただきたいと思っております。

山手支部 忘年会開催

山手支部庶務 徳永 裕司

去る12月18日(土)「鮭やなぎ」におきまして、山手支部の忘年会を開催いたしました。ゲストに近藤理事長をはじめ、清水、松井両副理事長また文京支部からも山田、大柴両氏をお迎えして賑やかに開催されました。



最初に脇支部長の挨拶の後、近藤理事長からご挨拶を頂き、清水副理事長により乾杯のご発声を頂きました。ゲストの方々も毎年参加を頂いてお

謹 賀 新 年

りますので、支部員とも顔なじみですぐに打ち解けた宴となりました。コンパニオンも加わり多いに盛り上がった忘年会となりました。いつもお願いしている大柴様に記念写真を撮って頂き、最後に松井副理事長に締めをして頂き散会となりました。

城北支部 忘年会開催

城北支部 黒田 義孝

日時：22年12月10日

場所：東京池袋 おだいどこ

参加者：18名

ご来賓：清水副理事長、大同生命 戸部さん



司会は竹内義人さんで始まり、支部長挨拶、清水副理事長に先日、協組の直納部海外研修「中国アモイ」のお話を聞いて皆さん大変勉強

に成りました。

乾杯は皆川前理事長にお願いし10月に家庭紙古紙原料の価格が上がり11月には用紙向けが上がり来年は良い年で有る様に願って乾杯しました。

皆さん飲んで食べて大いに楽しんで頂きました。中締めは(株)千足の伊藤社長さんでお開きとなり、城北支部青年部が全員揃ったので二次会へと散会。

文京支部 忘年会開催

文京支部 清水 弘允

去る12月8日(水)文京支部の忘年会が、支部員20名の中から11名の参加と来賓8名を加え、計19名で最近特に人気の神楽坂界隈の「烏茶屋別亭」にて開催された。神楽坂は表通りだけでなく裏路地に風情があるが、我々の利用した店も正に隠れ家のお店だった。



本部から来賓として松井副理事長、脇山手支部長、夏目専務理事に出席して頂き、それに大同生命から井上課長、小川さん、ウィル・プロモートから

謹 賀 新 年

近藤社長、宮内部長、さらに城北支部から宏文社の乗附社長に参加してもらった。

神楽坂芸者に華を添えて貰った事もあり、酒が入るに連れ次第に忘年会らしい和やかな雰囲気になった。

恒例のビンゴ・ゲームでの悲喜交々は何時もの事であるが、山田支部長が早々とビンゴを達成した。閉会は、人見副支部長の音頭で締めた。その時の様子は恒例の大柴さんの撮った集合写真でご確認下さい。

組合員の広場

笹口行政書士事務所の紹介



行政書士 笹口 哲也

1. ご挨拶

笹口行政書士事務所の代表をしております行政書士の笹口と申します。東京都製紙原料協同組合様

には、平成22年5月に顧問契約を締結していただきました。以降、各組合員様に対して個別案件ごとのサポートをさせていただいております。

今回は、この様な大変ありがたい機会を頂戴致しました事に感謝申し上げますと共に、各組合員様にとりまして、当事務所がどの様にお役に立てるのかを知っていただきたく、行政書士の業務及び当事務所について紹介をさせていただければと思います。

2. 行政書士の業務

名刺交換をした方々から「行政書士ってどんな事してくれるのですか?」と、よく質問されるのですが、正直言いまして私も一言で説明できません(苦笑)。良くも悪くも、それだけ取扱う事ができる業務範囲が広い事を意味していると思って下さい。

これまでに当事務所にご依頼いただいた業務だけを列挙してみても、

- ・株式会社・合同会社の設立、各種議事録の作成
- ・建設業、宅建業、運送業等の新規・更新・変更等の各申請
- ・古物商の営業許可、酒販免許、屋外広告許可等、その他営業免許の申請

謹 賀 新 年

- ・外国人の在留許可（Visa）申請
- ・遺言書・遺産分割協議書の作成 等

と多岐の分野に渡っている事がお分かりいただけるかと思います。

これまでに各組合員様から実際にいただいたご相談、ご依頼は、「廃棄物再生事業者登録」、「産業廃棄物収集運搬業許可申請」、「一般貨物自動車運送業許可申請」等がございます。

行政書士の役割を取って一言で例えるとするならば、「社外総務部・社外法務部」と言った感じではないでしょうか。

3. 当事務所の紹介

当事務所は江東区の亀戸、JR 総武線亀戸駅からほど近い所にあり、今年で開業5年目になる、まだまだ若い事務所です。

許認可に関する業務を中心に扱っておりますが、それぞれの申請で許可される要件が異なり、また、事業者様が置かれた状況もそれぞれ異なりますので、同じ内容の申請は二度とないと言えます。そのため、日々体当たりで仕事に取り組み、多くの勉強・経験をさせていただいております。

組合様及び各組合員の皆様の仕事のお手伝いをさせていただきながら、様々なご指導、ご鞭撻を

いただければ幸いです。

ご相談、お問合わせ等ございましたら、どんな些細な事でもかまいませんので、お気軽にご連絡下さい。当事務所だけでは解決できない案件も、他の士業や専門家とのネットワークを利用し、迅速に対応させていただきます。

皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

♪ ことわざミニ知識 ♪

「泥棒を見て縄を綯（な）う」「泥棒を捕えて縄を綯う」とも言う。

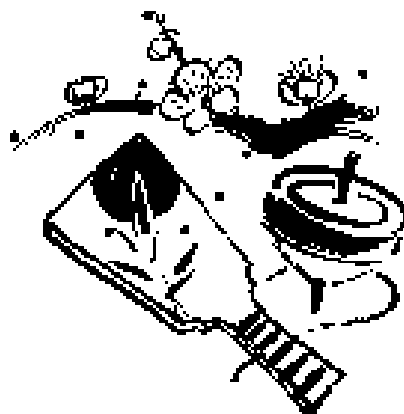
事が起ってからあわてて用意することのたとえ。
泥縄・・・広辞苑

日頃しなければいけないと分かっている、人間とは弱い者で、つい準備を怠ってしまう。

仕事でも、どうにかなっている内は抜本的な対策がなかなか取れないものだ。会社が本当に危機に直面してからでは遅いのだが。

会社が順調なうちに、次なる手を打ちたいもの。

謹 賀 新 年



支部スケジュール

千代田支部

支部会 2月 7日(月) 菜の家
 支部会 3月 7日(月) 菜の家
 支部会 4月 5日(火) 菜の家
 総 会 4月 5日(火) 庄司

中央支部

支部会 2月 18日(金) 大門酒家
 支部会 3月 11日(金) きくち
 支部会 4月 15日(金) きくち

文京支部

支部会 2月 8日(火) 場所未定
 支部会 3月 8日(火) 場所未定

台東支部

支部会 3月上旬 組合会議室

荒川支部

講演会 2月 25日(金) 荒川サンパール
 役員会 3月 *日にち及び場所未定
 総 会 4月 9日(土) 箱根湯本

足立支部

支部会 2月 26日(土)
 支部ゴルフコンペ 3月 24日(木) 場所未定

山手支部

支部会 2月 19日(土) 鮭やなぎ
 評議会 3月 12日(土) 鮭やなぎ
 支部会 3月 19日(土) 鮭やなぎ
 総会 4月 16日(土) 鮭やなぎ

城南支部

新年会旅行 2月 5日(土)～6日(日)
 群馬・磯部温泉

江墨支部

支部会 2月 21日(月) 吉野すし
 支部会 3月 22日(火) 吉野すし

城北支部

支部会 2月 11日(金) タンポポ

お 知 ら せ

[2月会議・催事確認]

2月 3日(木) 常任理事会 (pm2:30)
 理事会 (pm4:00)
 組合会議室

2月 4日(金) 東印工 「組合員のつどい」
 講演会 (pm4:30～)
 懇親会 (pm6:00～)
 ホテルグランドパレス

2月 5日(土) 東資協新年会 (pm5:00～)
 東京ガーデンパレス 2階
 「高千穂」

2月 24日(木) 古紙センター業務委員会
 (pm1:30～) センター会議室
 " 全原連役員会 (pm2:40～)
 センター会議室

[訃 報]

台東支部：(有)北信紙業 代表者 高山昭二郎様
 のご尊父 高山^{レンジ}聯治様(享年91)が
 平成22年12月18日にご逝去されました。

城北支部：(株)工藤商店 代表者 工藤裕樹様のご尊父 工藤敏雄様(享年89)が平成23年1月6日にご逝去されました。

山手支部：(株)近藤紙業(代表者 近藤友宏様)のご尊父 近藤 満様(享年83)が平成23年1月12日(水)にご逝去されました。

古紙価格

[東資協の古紙4品の標準売値]

平成22年12月8日現在

新聞	9円～10円(横ばい)
雑誌	7円～8円(横ばい)
段ボール	8円～9円(横ばい)
色上(並)	7円～8円(横ばい)

[古紙品質調査事業] 平成22年10月～12月

[新聞 古紙]	16,000円/トン
[段ボール 古紙]	16,000円/トン

会議概要 [11月・12月]

11月度定例理事会

[平成22年11月4日(木)] pm4:00

出席理事 29名 於) 組合会議室

近藤理事長挨拶

経済は相変わらず円高、デフレから脱却できずにおります。中国では尖閣諸島問題、ロシアでは北方領土問題に対し政府が難しい対応を迫られています。先月は上野・精養軒で静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会を開催し多数の方がご参加くだ

さりありがとうございました。古紙原料価格も家庭紙向けが10月中旬より、洋紙向けが11月より修正となりました。

これから年末年始に向け忘年会、新年会等の各種の行事が多くなりますが皆様、今後ともよろしくお願い致します。

[各部報告]

[総務部] 組合会館2階テナント(株)研立の賃貸借契約更新を10月25日に現状家賃で更新。

[直納部]

11月度の共販輸出検討委員会は3社による入札となりました。結果、(株)ジェーオーピーが先月より2円の上げで落札しました。輸出先は、韓国で市況は、国内外とも市場は活発化してきており価格も上昇してきている。

海外工場視察研修は中国のアモイに3泊4日(11月21日～24日)で予定している。研修には工場見学を含め東方物産(株)の蔵社長が同行する予定。

全般的な市況は、秋口から国内は洋紙メーカーが操短している。新聞の発行部数減や輸出は円高の影響を受け、電子書籍の話題などで良い材料が見当たらない。今後の日本経済の回復も望みが薄い。板紙は夏の飲料水関係が終わり、青果物は横ばい状態である。

[品目別市況]

[家庭紙] 9月、10月の古紙原料の発生は良くなかった。10月中旬に家庭紙古紙原料の価格修正があってから古紙のタイト化が進んでいる。家庭紙メーカーへの古紙の納入にバラツキが出てきている。一部のメーカーでは古紙原料がスムーズに入らず騒いでいる。家庭紙メーカーは製品価格の修正がうまくいかず在庫は膨れている。今後も

古紙の発生が良くなってくるとは思えない。

[段ボール] 国内は変わらず。不景気の影響を受け発生が悪い。大手製紙会社の業績が悪く下方修正している所がある。

[新聞・雑誌] 国内外とも変化なし。相変わらず印刷、出版業界の不況が目立つ。

[台紙] 発生が悪く、先月とほとんど変わらない。

[オフィス古紙] 発生が悪い。今月の発生を期待したい。

[集荷部]

なかなか良い話題がないが10月中旬に家庭紙原料価格が2円価格修正されたのが良い材料である。電子書籍が登場したりして出版物がますます減少していくのではないかとと思われる。

[広報部]

広報誌は、11月号の原稿について最終調整に入っている。今回の「時の視点」は直納部の正副部長の記事を掲載し支部便り、捺染紙の問題、静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会の模様を掲載予定である。尚、理事長が出席した特殊紙連絡会アンケートを依頼されているので理事長に原案を作成してもらい広報11月号発送時に同封したい。

[事業部]

合同新年会の今回の司会は中央支部の小森理事、中締めは千代田支部の近藤理事が担当する。アトラクションはカラオケ大会（採点付き）を予定している。

[青年部]

製本二世連合会交流会で「電子書籍の現状」についての講演があるので18名ほどが参加予定。内容が良ければ清風会の講演で使いたい。

古紙センター関東地区委員会

[平成22年11月24日(水)] pm2:00～
於)古紙センター会議室

[需要動向] 10/10月 単位トン、
()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組32社実績]

[新聞]	仕入	68,538 (93.6%)
	出荷	67,954 (88.7%)
	在庫	7,461 (11.0%)
[雑誌]	仕入	50,970 (91.4%)
	出荷	52,307 (90.3%)
	在庫	6,695 (13.3%)
[段ボール]	仕入	129,488 (98.4%)
	出荷	129,968 (96.5%)
	在庫	11,999 (9.2%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	229,274 (93.4%)
	消費	233,850 (94.9%)
	在庫	161,541 (69.1%)
[雑誌]	入荷	122,734 (96.5%)
	消費	124,461 (96.4%)
	在庫	58,505 (47.0%)
[段ボール]	入荷	291,869 (100.9%)
	消費	312,882 (103.1%)
	在庫	92,197 (29.5%)

[業者側コメント] 及び [メーカー側コメント]
は省略

古紙センター業務委員会

[平成22年11月25日(木)] pm1:30～
於)古紙センター会議室

- [1] 昇華転写紙（捺染紙）に関する（社）日本雑誌協会への対応について
- [2] 集団回収実施団体への感謝状交付（東北・関東地区委員会推薦）について
- [3] 平成23年1月～6月の段ボール・新聞・雑紙の消費計画について
- [4] 古紙の需要・市況動向について
- *ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連 平成22年度 第6回役員会

[平成22年11月25日（木）] pm2:45～
 於）古紙センター会議室
 理事・監事64名：出席64名
 （内、委任出席42名）欠席0名

(1) 古紙再生促進センター 関係

- 業務委員会（11月25日開催）
- ◎平成23年1月～6月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

段ボール：

22年10月～12月実績・見直計画
 1,931,610t（前年比103.0%）

23年1月～3月見直計画
 1,723,073t（前年比102.3%）

23年4月～6月計画
 1,866,727t（前年比97.7%）

23年1月～6月見直計画・計画
 3,589,800t（前年比99.9%）

新聞：

22年10月～12月実績・見直計画
 984,893t（前年比93.1%）

23年1月～3月見直計画
 959,279t（前年比95.4%）

23年4月～6月計画
 1,028,649t（前年比100.9%）

23年1月～6月見直計画・計画
 1,987,928t（前年比98.2%）

雑誌：

22年10月～12月実績・見直計画
 581,128t（前年比96.5%）

23年1月～3月見直計画
 543,197t（前年比100.6%）

23年4月～6月計画
 589,526t（前年比98.9%）

23年1月～6月見直計画・計画
 1,132,723t（前年比99.7%）

◎昇華転写紙（捺染紙）に関する（社）日本雑誌協会への対応について

- ・9月8日付けにて紙リサイクルに際し大きな障害と古紙に混入しないようお願い。また、9月17日には昇華転写紙の雑誌への利用は取りやめてほしい旨お願い。
- 11月4日に再度、昇華転写紙を古紙に混入させず、廃棄物として適正に処理することと雑誌に利用する場合には、消費者に古紙に混入させないようにするための対策を講じ、消費者が完全な分別廃棄が担保できない場合には、昇華転写紙の利用を控えることの2点に留意するようお願いした。

◎集団回収実施団体への感謝状交付について

推薦地区委員会：東北地区委員会・関東地区委員会
 推薦団体：東北地区5団体・関東地区3団体
 計8団体
 （11月25日業務委員会において承認されました。）

◎その他

東京ビッグサイトのイベント
 ・エコプロダクツ2010出展：12/9（木）～12/11（土）10:00～18:00 東展示場

- ・シンポジウム開催：12/9（木）13：30～16：30 会議棟 102 号室
- ・紙リサイクルコンテスト金賞受賞者表彰式：12/11（土）13：00 出展ブース

◎今後の日程

- 平成 23 年 1 月 7 日（金）13：30～
新年互礼会（ホテルグランドパレス）
- 平成 23 年 1 月 31 日（月）13：30～14：30
業務委員会（センター会議室）

(2) 経済産業省 関係

◎第 2 回懇談会（11 月 17 日開催）

①古紙利用率目標再設定について

- i. 現在の進捗状況と目標設定の仕方について
- ii. 古紙回収予測と古紙回収可能率について
- iii. 今後のスケジュール

*全原連としては洋紙板紙の生産比率が 10 年後どうなるかわからないので 5 年計画回収率 79～80%として利用率 63%とする。

②古紙委託調査について

- i. 現在の進捗状況について
- ii. 今後のスケジュールと進め方について

③その他

- i. 古紙持ち去りについて
- ii. AOTS の「中国紙リサイクル研修」について

(3) 全原連 関係

◎審議事項（役員会上程、承認事項）

①「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定について

- ・古紙商品化適格事業所：11 月 15 日（3 社、4 事業所）累計（415 社 829 事業所）
- ・リサイクルアドバイザー：11 月 15 日（2 社、4 名）累計（439 社 2,047 名）

②自治体における高値入札に関する対応策について

- ・需給委員会に小委員会を設置し、対応スキームをまとめる。年内を目途に各単組を通じて入札状況を調査する。（落札価格・契約仕様内容）

③古紙持ち去りに関する対応状況について

- (1) 日資連では当初賛同事業者の HP 掲載について法的問題発生（掲載について業者の差別化になるのではないかとの指摘があり現在検討中）

- (2) 東京都における「古紙持ち去り問題対策検討協議会」の設置

第 1 回開催：11 月 19 日（金）15：30～都庁第一舎 25 階 114 会議室

出席者：東京都環境局廃棄物対策部、行政（台東区、港区、国立市、日野市）

製紙メーカー、直納問屋、回収業者、古紙再生促進センター、警視庁

④ AOTS 中国紙リサイクルシステム構築研修（第 2 回）の実施状況について

・日程：11 月 8 日（月）～11 月 17 日（水）
財団法人海外技術者研修協会

・全原連 栗原理事長「古紙直納問屋の歴史と現状」講演

・ヤード見学：(株)富澤（彩京資源化センター）、(株)大久保（戸田営業所）

(4) 各委員会報告

●経営革新委員会（11 月 12 日開催）

①優良性評価事業に関する広報について

- ・広報文については全原連理事の意見を再度取り入れて検討する。

・リーフレットの作成（初校）検討（渉外広報委員会）

②古紙リサイクルアドバイザー用サブテキストについて

・ページ数：約 40 ページ、単価：1 冊 500 円、作成部数：3,000 部予定。

・各単組にて必要部数を全原連事務局に連絡のこと。

③「日本古紙品質認定（J-BRAND）制度」の進捗状況について

・メーカーの意見として主に表示シールの内容についてであり、全原連として統一シールでの検討をする。またテストは来年4～6月に実施予定。

●需給委員会（理事会承認事項）

- ・自治体における高値入札に関する対応策について小委員会を設置する。
- ・各単組で行政入札の実態調査を早急に行うことを願います。

12 月度定例理事会

[平成 22 年 12 月 3 日（金）] pm4:00

出席理事 23 名 於）組合会議室

近藤理事長挨拶

組合としては今年も家庭紙メーカーや関連業界との交流を中心に進めてきましたが、それぞれ中味の濃い会合をする事が出来たと思っています。今年の春、秋と上物の古紙原料価格が徐々に上昇しましたが極端に発生が少ないのが現状です。本日は、病氣療養後ですが皆川前理事長が久しぶりに会議に出席いただけましたので、後ほどお話をお聞きしたいと思います。

今年最後の会合となりますが本日もよろしく願い致します。

[各部報告]

[直納部]

12 月度の共販輸出検討委員会は 3 社による入札となりました。結果、松本光春商店（株）が先月

より 2 円の上げで落札しました。輸出先は、中国で市況は、アジア大会も 11 月末で閉幕となり環境制限がなくなることと、年末にかけて板紙メーカーの増産体制が相まって 12 月初めまでは引き合いが高くなるのではないかと。価格はすこしづつ上昇し 12 月上旬には天井になるのではないかとと思われる。他の業者も引続き引き合いが強いとのコメントを出している。輸出に関しては 12 月初めから上昇基調で年末までは上げ、1 月は生産ストップで弱含みの予想。国内は洋紙メーカーが減産基調である。

先月下旬に実施した中国アモイの海外工場視察研修は福建省「聯盛紙業有限公司」（リンショウキョウ）を見学した。年間の生産は 90 万トン程度。古紙原料はヨーロッパから大半を輸入している。現在、工場施設を増大しており将来的には日本の古紙を使いたい意向があるとのこと。

[品目別市況]

[家庭紙] 11 月の古紙原料の発生は低調であった。家庭紙メーカーは生産を止めたいが止められないでいる。一部では廃業するメーカーも出てきている。メーカーの製品在庫は膨らんでいる。販売は低調で製品価格は下げ基調にある。古紙原料はタイトで要望どおりの納入が難しい状況となってきた。輸出価格は上げ基調。中小家庭紙メーカーではスポット価格が出てきているようである。

[段ボール] 段ボールの発生は悪い。原料価格も変わらない。仕入れに苦しんでいる状況である。

[新聞・雑誌] 洋紙メーカーの生産は減少し新聞、雑誌の発生は良くない。輸出価格は上昇しているが発生はタイトである。

[台紙] 発生が悪く、先月とほとんど変わらない。上台紙はまったく出ていない。

[オフィス古紙] 発生が悪い。機密系は直接、業

者に持っていく方が増えている。

[集荷部]

とにかく発生が悪い。小さな印刷会社や製本業者で廃業が増えている。

[広報部]

広報誌は11月号がお手元に届いたと思います。先日、次回の新年号の打合せをしました。「時の話題」は、正副理事長の新年の挨拶、TOM 理事長の新年の挨拶、11月に行われた中国研修の報告、各支部の忘年会、清風会や青年部の忘年会などの記事を掲載予定です。原稿は年内に提出できるようにしてほしい。

[事業部]

合同新年会の準備を進めている。青年部にはカラオケ大会の手伝いをお願いしたい。

[青年部]

12月2日に青年部の忘年会を月島のもんじゃ焼き屋で開催し26名が参加した。12月5日の組合ゴルフの手伝いを予定している。合同新年会は青年部から10名が参加予定。

[近代化推進委員会]

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザー用サブテキストを作成予定。

編集後記

広報部副部長 **高橋 宏明**

組合員の皆様新年明けましておめでとうございます。

自分が歳を取ったせいか、年々「1年間」があつと言う間に終わってしまうのには驚いてしまいます。また、私も広報部員の一人となって驚くことに3年半という月日が過ぎていました。月日だけは早く過ぎるんですけど、未だに文章を書くのは遅い(国語が苦手)自分なので、いつも他の広報の方々に迷惑をかけているのではないかと考えています。

また、喋って言葉で言うのと文章として文字にするのでは「なぜ難しい」と思いつつも何とか頑張っています。こんな自分でも少しずつですが、書くことに慣れてきているような気がしています(気のせい?)。組合員の皆様も、何かを「書く」と思うと硬く考えてしまうので「ぼやき」や「つぶやき」といった軽い気持ちで書いてみてはどうでしょうか。お便りをお待ちしております。

今年も、執行部及び広報部一同頑張りますので組合員の皆様宜しくお願い致します。

